

公益財団法人 生涯学習振興財団

財団通信

発行所 宇都宮県鎌倉市三嶋町通見18-2
公益財団法人 生涯学習振興財団
TEL 0944-72-5452
FAX 0944-72-1803
発行人 理事長 沖永佳史
編集人 事務局長 井上正明

主催者あいさつ



公益財団法人 生涯学習振興財団
理事長 沖永佳史

夢の実現に向けた 大きな一歩

私ども財団が主催する「高校生小論文コンクール」は、今年で23回目を迎えました。当財団の初代理事長で帝京大学前学主・沖永荘一博士の「日本の将来を担う高校生たちが心に描いている夢や将来像を、大志という形で文字に綴ってもらいたい」という思いを継承し、「今こそ大志を語れ」をテーマに毎年開催してまいりました。

今回、参加した高校生の総数は1万2千6百人を超え、昨年より千2百人以上多くご参加いただきました。参加校

も過去最高の282校となり、北海道から沖縄まで、さらに海外からの応募もありました。昨年度から続くコロナ禍の影響を受けた学校生活であったと思いますが、皆さんの作品からは勇氣と希望があふれ、力強いエネルギーを感じました。今回の作品は、夢や志を語るだけではなく、具体的な目標を掲げて行動に踏み出している内容も多く見られ、非常に頼もしい印象を持ちました。当コンクールへの参加が、夢の実現に向けた大きな一歩となり、将来ご自身が望む人生を歩んでいかれることを願ってやみません。

最後になりましたが、応募いただいた高校生の方、ご指導された先生方、また多数の作品を一次から最終審査までご協力いただいた先生、審査委員の皆様へ深く感謝し、心より御礼申し上げます。

第23回高校生小論文コンクール

「今こそ大志を語れ」をテーマにした高校生小論文コンクールでは、個人部門とグループ部門で、自分の未来や人生の夢、目標という身近なことから、福祉、教育問題、環境問題などの社会的な提言に至るまで、ジャンルを問わず、文章で綴る作品を募集しました。結果は左記の通りです。

沖永荘一博士記念大賞

「自らの困難を乗り越え、持続可能な酪農経営で地域貢献をめざす」

宮城県加美農業高等学校 3年

齋藤 大輝 さん

優秀賞

「あの日の言葉を胸に」

国立大学法人筑波大学附属高等学校 2年

國井 結月花 さん

読売新聞西部本社賞

「多様性の国」といえば日本」

筑波大学附属桐が丘特別支援学校 2年 齋藤 花凜 さん

最優秀賞

食の未来を守る遺伝子

兵庫県立農業高等学校 1・2年

高地 真穂 さん 高田 理人 さん 中井 陽基 さん

船引 大生 さん 大茂 夏妃 さん 福永 創太 さん

優秀賞

グローバル化に対応した新たな食品表示の形態の提案―多様性の尊重へ―

東京学芸大学附属国際中等教育学校 1年

若林 仁菜 さん 大津 彩浩 さん

読売新聞西部本社賞

出雲西高発！「森林保全プロジェクト」について

学校法人永島学園 出雲西高等学校 2年

森山 咲希 さん セクストン 実結 さん 高橋 美優 さん

瀨村 愛梨 さん 高見 莉李 さん

優秀学校賞

大変な熱意を持って継続的に参加された学校

福岡県立 武蔵台高等学校

学校法人熊見学園神戸星城高等学校

鹿児島県立 鶴丸高等学校

全国282校の高校からの応募と、一万二千人を越える応募から

この小論文コンクールは、基本テーマを「今こそ大志を語れ」として、沖永荘一前理事長の提唱である、「一人でも多くの現役高校生に、それぞれの夢を語っていただく」という趣旨ではじめられ、この度23回を迎えた。

コンクールは、個人部門とグループ部門に分けられ、自分の未来や人生の夢、目標という身近なことから、福祉、教育問題、環境問題等の社会的提言に至るまでジャンルを問わず、文章で綴る作品を募集している。

募集は10月末日に締め切られ、全国から一万二千人をこえる応募をいただいた。審査の結果は上記のとおりです。

審査は、11月に予備選考審査を経た後、最終審査は12月6日に柳川市の白柳荘で行われ、細田明宏帝京大学文学部教授を委員長に、海老井悦子福岡県前副知事、森山良一福岡県教育委員会元教育長、松本邦明福岡県教育庁教育振興部高校教育課指導主事、添田恭正読売新聞西部本社生活文化部長の各委員の活発な討議のもとで行われ、各賞受賞者が選ばれた。

第23回高校生小論コンクール受賞者

個人部門

優良賞

7代目足立農場を変えるオーナー制度
北海道倶知安農業高等学校 3年

足立 愛華

「代表」という文字に恥じぬよう
鹿児島県立鶴丸高等学校 2年

久木田 紫絵留

最高の納豆をつくるために
静岡県立田方農業高等学校 1年

斎藤 双葉

ミトコンドリアから始める人生計画
慶應義塾ニューヨーク学院 2年

北田 真優華

奨励賞

言語と自分。自分と世界。世界と言語。
学校法人聖心女子学院 札幌聖心女子学院高等学校(3年)

加世田 紗衣

これから進むべき道
学校法人白百合学園 白百合学園高等学校(1年)

石井 美鈴

農業に関心を
静岡県立田方農業高等学校(1年)

西村 りつき

食でつなぐ地域の輪
静岡市立清水桜が丘高等学校(3年)

望月 綾那

認知考古学と「私」
兵庫県立長田高等学校(1年)

行木 ことは

私のこれから
学校法人熊見学園 神戸星城高等学校

匿名希望

せいちゃん、イガクになりたい
山口県立徳山高等学校(1年)

吉永 成菜

地域の宝を守りたい
独立行政法人 国立高等専門学校機構 北九州工業高等専門学校(2年)

廣津 晃人

自分の人生
福岡県立ありあけ新世高等学校(3年)

坂井 和水

外国人との共生社会を目指して
福岡県立久留米高等学校(1年)

宮 千彩綺

変わらない夢
福岡県立修猷館高等学校(2年)

真子 沙弥香

私の志
福岡県立筑紫丘高等学校(1年)

荒川 いづみ

救う
福岡県立三池高等学校(2年)

横山 叶和

小さなことから始めたい
福岡県立三池高等学校(2年)

石川 恭伽

漫画で伝えたい「命の大切さ」
福岡県立三池高等学校(1年)

野田 奈乃葉

だから私は魔法使いになりたい。
福岡県立明善高等学校(1年)

野田 桃々夏

食から貰った幸せ 食で与える幸せ
福岡県立明善高等学校(2年)

平戸 すみれ

日本で得た夢
学校法人豊栄学園 都城東高等学校(2年)

ブランドナーゼ

メイクで彩る私の未来
鹿児島県立鶴丸高等学校(2年)

二反田 愛

社会の一員として
独立行政法人 国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校(1年)

前山 あかり

グループ部門

優良賞

ジェネリック医薬品の普及と未来の医療財源のために
山梨県立甲府第一高等学校(2年)

後藤 優希 塩沢 一輝
柏木 未来 野澤 明莉

選択的除草とアレロパシーを用いた雑草管理法の研究
大阪府立園芸高等学校(2・3年)

能村 天喜 福井 一斗 鈴木 琉也
松口 歩佳 遠近 深空

どうしたら食品ロスを減らせるか
福岡県立三池高等学校(2年)

東 紫陽 平川 優花
濱北 愛彩 平川 裕理

学校部門

学校賞

【東京】明星高等学校
【神奈川県】横浜共立学園高等学校
【愛知県】菊里高等学校
【兵庫県】長田高等学校
【広島県】広島高等学校
【徳島県】徳島北高等学校
【福岡県】朝倉東高等学校・ありあけ新世高等学校・北九州工業高等専門学校・光陵高等学校・誠修高等学校・筑紫丘高等学校・伝習館高等学校・福岡工業高等学校・三池高等学校・三井高等学校・明善高等学校・八女高等学校
【長崎県】長崎南高等学校
【熊本県】熊本商業高等学校
【宮崎県】延岡星雲高等学校
【鹿児島県】鹿屋高等学校

前回は引き続き本校に継続的かつ積極的に取り組まれている学校、及び、新規挑戦された学校。

(敬称略・順不同)

受賞して思うこと

宮城県加美農業高等学校 三年

齋藤 大輝さん

受賞を知った瞬間は、ただただびびくりしたというのが正直なところでした。周りといったクラスメイトに「おめでとう。すごいじゃん」と祝福され、やっと嬉しさがこみ上げてきました。冬期は耕心寮生活をしているため、家族には週末の帰省時に知らせることになりましたが、入院中のおばあさんをはじめみんなが大喜びしてくれました。酪農家をめざして農業高校で学ぶ私は、人、動植物、自然環境を大切に思う気持ちを柱として、日頃からSDGsを意識することが多く、様々な人々が互いに尊重し合い、助け合いながら身近な地域課題の解決に取り組んでいくスタイルで研究しています。

また、私はいろんなことに興味を持ち、自分で調べ、行動して事実を確かめたくなる性格で、今回も先生に頼んで、先進農家や地域リーダーの方々を訪問して貴重なお話をたくさん聞き、内容を充実させることができました。その中で、先輩方はめんこい私たちに教えたがっている、技術やノウハウを伝えたがっていることがはつきりと分かりました。私たち若者の側からもっともっとと近づく意識を持つことが大切なのかもしれないですね。

今回の受賞経験は、高校三年間の総まとめ、そして、酪農家になる夢の実現に向け、とても大きな自信になると思います。本当にありがとうございます。感謝の気持ちを大切にして、お世話になった方々に恩返しができるよう努力を続けて行きます。

福岡県立武蔵台高等学校

校長 金丸 敏雄

この度は、「優秀学校賞」受賞の栄誉を賜り、大変光栄に存じます。

本校は全校生徒が千人を超える創立42年の普通科高校です。ほとんどの生徒が進学を希望しております。もちろん、進学希望であらうとなかろうと、生徒一人ひとりが、心になんらかの志を秘めております。

貴コンクールへの応募は、その一人ひとりの生徒たちが心に秘めている大志の覚醒や強化、掘り起こしにつながる大変有意義な機会であります。また、入選された個人作品を目にする中で、大いなる刺激を受け、視野を広げる良い機会にもなります。

本校としても、これを機にすべての生徒が年に一度、自らの大志に向き合い、「今すべきことは何か」と問いながら、高校生活を送れるようにしていきたいと思っております。

終わりに、関係の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、貴財団の今後益々の発展を祈念申し上げます。

神戸星城高等学校

校長 熊見 一郎

この度は「優秀学校賞」の栄誉を賜り、深く感謝申し上げます。

商業高校である本校では、建学の精神である「社会に役立つ実践的な人間を育てる」をモットーに、志に向かって自ら努力し、社会に貢献できる、心豊かな人間育成に力を注いでまいりました。その中で生徒たちは自らの理想の実現を目指して、日々勉学に励んでおります。しかしこの二年は、

新型コロナウイルスによって社会環境が一変し、将来の予想が困難な状況下で、生徒たちはこれまで以上に、社会の一員としての自らの役割を深く考えることとなりました。

貴コンクールのテーマ「今こそ大志を語れ」の小論文に取り組むことは、その考えを明確にし、実行に移す後押しになりました。このような機会を与えて頂きましたことを有難く思います。

最後に、ご関係の皆様方に感謝いたしますと共に、貴財団の今後益々のご発展を祈念申し上げます。

鹿児島県立鶴丸高等学校

校長 前田 光久

この度は昨年度に続き「優秀学校賞」という栄誉を賜り、深く感謝しております。

本校では、毎年表現活動の一環として貴コンクールに参加しております。貴コンクールは、多感な「今」を生きる生徒にとって、日常看過しがちな自己を見つめ直し問いかけることで、無限の色が広がる未来を描き出す貴重な機会です。「書く」という活動を通じて得た様々な発見を糧に、日々新たに今を生きる決意を再確認しているようにです。

また、優秀作品集に掲載された全国の高校生の方々のみずみずしくも熱い文章が、本校生徒の刺激となり、学校の垣根を越えた学び合いの実現ともなっておりますことも感謝の意と共に申し添えたいと思っております。

終わりに、御関係の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、貴財団の今後益々の御発展を祈念申し上げます。

審査にあたって



帝京大学文学部
日本文学科教授
審査委員長
細田 明宏

第23回を数えます今回は、前回に引き続きコロナ禍での開催となりました。困難な状況の中ご応募くださった高校生のみなさん、ご指導の先生方、開催に当たりご尽力くださった関係者各位に感謝申し上げます。

さて今回も熱のこもった作品が多く寄せられました。中でも、グローバル化や社会の多様性など、時代に即応したテーマを取り上げている作品が目を引きました。スマートフォンのアプリ開発や地元の産品を活かしての起業など、現代におけるさまざまな問題に積極的に取り組む様子が窺え、頼もしく感じました。

その一方で、食や農業への高い関心に基づき、地に足のついた議論を展開する作品も印象的でした。これからの社会を作っていくみなさんのご活躍を大いに期待しています。

令和3年度 第32回筑南ジュニア美術展

九州芸文館にて表彰式を行う

南筑後地区の園児・小・中学生までを対象とした筑南ジュニア美術展が開催された。応募総数7,768点の作品より審査の結果256点の作品が入賞した。

10月17日(日)午前10時半より九州芸文館にて理事長賞受賞の32名の皆様の表彰式が行われ子どもたちに賞状や副賞などが授与された。

なお、入賞作品は、財団会館内ホールに展示していただきますので参観ください。
(入賞作品は財団通信でも既に発表しています)



学習講座

ゆめ夢クラブ

毎週土曜日、英会話、美術教室を行っています。

※ 詳細は財団事務局へ



学習クラブ講座

おもなクラブは、謡曲、グランドゴルフ、ちりめん布工芸、フラダンス等、実施しています。

グランドゴルフ



公開講座

帝京大学福岡医療技術学部の先生方より8講座を開いて頂きました。

